

令和6年度三芳町社会福祉協議会 事業報告書

事業報告概要

○地区社協の設置推進を中心とする小地域福祉活動^{*}については、令和6年6月に町内4カ所目となる、藤久保5区・6区地区社会福祉協議会の設立に至る。

高齢者単身世帯は増加傾向、総務省によると65歳以上で独居している人の割合は2040年には男性で21%、女性で25%の見込み。高齢で生活困窮状態の人も多く、孤立防止、孤独死防止のための見守り活動を続ける他、生活支援体制整備事業^{*}と並行しながら介護虚弱化（フレイル^{*}）予防の取り組みも三芳町と協力体制をとっている。

○子どもの貧困対策は、食事支援、学習格差、生活習慣の乱れ、体験格差に対応する居場所事業を藤久保教室（子ども第三の居場所事業）及び、北永井教室として展開。特に食事支援としては、週1回の子ども食堂や朝食提供支援も年間を通じ実施し、計7,518食の提供を行った。

学用品や学力テストなどの工面が難しい世帯に対し、子ども応援夢基金を活用した給付の事業は15件。

貧困連鎖の現状は深刻で家庭内養育力の欠如による児童保護ケースもあり、家族全体への支援の必要性が顕在化した年度であった。また、本会学習教室に通う児童の多くがヤングケアラー^{*}状態になっている状態で学習環境格差の根本的な解決や是正には至っていない。

令和7年度以降は子ども第三の居場所事業の事業継続のための資金確保が最重要な課題。助成金申請、寄付金依頼、協力企業への現状説明など資金確保のための動きを続けている。

○町民等に向けた社会問題啓発活動は、福祉大学（全3回）、ヤングケアラー支援セミナーを継続して実施。

また、本会が事務局となる委員会（生活困窮者対策検討委員会・次世代を担う子どもたちへの支援検討委員会）主催による「生活困窮者支援セミナー」「子ども支援セミナー」を初めて開催し、委員会設立から10年目の節目としてひとつの成果となった。（参加者計75人）

○社会全体で関心が高まる「終活」については、セミナーを2回開催（「エンディングノート^{*}の書き方」「相続と遺言の基本」）し、参加者は計112人となり、関心の高さが数字として表れている。相続税など税金関係の講座ニーズがあり、令和7年度に実施する。

○生活困窮者対策としては、自立相談支援事業を軸として、貸付相談対応、歳末援護金、食事提供、孤立防止のためのサロン活動など多角的に実施。一人親世帯向けにはクリスマスプレゼント配布やサロン活動を実施。サロンには社会福祉士が常駐し相談支援を同時に実施している。

○共生社会の理解促進に向けた、あいサポート運動（三芳町委託）は、受託初年度となったが、新規サポーター66名増加、認定団体3団体の増加となった。

○権利擁護事業として実施している福祉サービス利用援助事業^{*}は、認知症症状の悪化などの理由により成年後見制度の利用に切り替え等の理由により、年度中3名契約終了となり利用契約者は減少したが、全体の支援回数は増加。金銭管理を細かく対応する必要があるケースが増加傾向にあったり、臨時や緊急の支援の対応も増加している。

○ボランティアセンターは188件の相談・調整に対応。夏のボランティア体験には66名の参加があり、コロナ禍以前の水準に戻る。ボランティア養成講座は3種を実施した（子ども食堂ボランティア・学習支援ボランティア・災害支援ボランティア）。また、災害対策準備として、災害ボランティアセンター運営訓練を実施した。

○デイサービスセンターけやきの家は年間延べ利用者5,360人、1日平均利用者は17.3人（24人定員）。令和6年度中の新規利用者のうち9名は他施設で受け入れを断られた方であり、最終的なセーフティーネット、また地域密着型認知症専門デイサービスとしての役割を果たすために活動を続けている。若年性認知症^{*}利用者も他市町村からも積極的に受け入れ、社会的有用感の維持のため子ども食堂等の活動に参加をしてもらっている。若年性認知症向けの社会参加プログラムをもった事業所が県内になく、他市町村からの問い合わせが多いが、送迎などスタッフ体制に課題がある。また、重度化した状態、医療依存度が高まった状態でもデイサービス利用の継続を求めると利用者（ご家族）が多く、専門性をもった対応体制にも課題がある。

○高齢者の交流や健康維持、健康講座、デジタル格差対策（スマートフォン相談・デジタル活用セミナー）、買い物支援など多岐に渡る事業を実施するふれあいセンター事業（三芳町委託事業）は年間延べ利用者が13,966名となり、三芳町高齢者福祉計画の、ふれあいセンターR6年度目標値（年間11,000名利用）を達成。高齢者の居場所となる拠点としてニーズの高さが感じられる。

また、ふれあいセンター事業担当職員が町が進めるフレイル予防事業のフレイルレーナーとして登録し、町事業への協力体制をとっている。

用語の説明

小地域福祉活動※

地域支え合い活動の総称であり、町をさらに狭いエリアごとに分けて、その地域が抱える問題や課題を住民自身が考え解決していく取り組み。個人個人の活動では継続性に課題が出るため、その推進組織として地区社会福祉協議会の組織化を進めている。

生活支援体制整備事業※

介護保険事業の一環として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域の様々な資源を連携させて、高齢者を支える仕組みづくりを進める事業

ヤングケアラー※

本来は大人が担うとされているような家事や家族の世話を日常的に行っている子ども。具体的には、病気や障がいのある家族や夜間勤務の親、依存症等の課題がある親に代わり、買い物、料理、洗濯などの家事をする、幼いきょうだいの世話をする、目の離せない家族の見守りや声かけをする等。18歳以上に若者においても就学や就労に大きな影響があるため、若者ケアラーも支援対象として考える必要がある

フレイル※

身体が虚弱化し、健康な状態と要介護状態の間にある状態を指す。加齢とともに、身体的機能、精神、心理的機能、社会的なつながりが低下し、ストレスに対する抵抗力が弱くなった状態

エンディングノート※

人生の終末期において、自分の希望や情報を書き残しておくためのノート。主に友人関係の連絡先、既往歴、服薬などの医療情報、介護に対する希望、葬儀に対する希望、財産に関すること、大切な人へのメッセージなどを書き記す。遺言書と違い法的効力はないが、終活の第1歩として関心が高まっている

福祉サービス利用援助事業※

認知症、知的・精神障がい、境界知能、依存症などの理由で判断能力が不十分な人の福祉サービスの手続きや郵便物の整理、金銭管理、重要書類などの保管を行うサービス。第2種社会福祉事業として社会福祉協議会への委託により、全国全ての市町村で実施されている

若年性認知症※

65歳未満で発症する認知症の送料。平均発症年齢は50代前半。働き盛りの年齢で発症するため、本人・家族への生活に深刻な影響をもたらすことが特徴

1 法人運営・組織管理

(1) 会務の運営

会議名	開催日	出席数	主な議題
第1回理事会	5/31	9	第1号議案 令和5年度事業報告について 第2号議案 令和5年度収支決算について 第3号議案 令和6年度第1次補正予算について 第4号議案 評議員選任・解任委員会の開催について 第5号議案 評議員候補者案について 第6号議案 理事候補者案について 第7号議案 令和5年度埼玉県共同募金会三芳町支会収支決算について
第2回理事会	11/28	10	第1号議案 令和6年度第2次補正予算について 第2号議案 デイサービスセンターけやきの家 管理者の任命について 第3号議案 評議員の招集について
第3回理事会	決議省略	-	第1号議案 評議員の招集について

会議名	開催日	出席数	主な議題
第4回理事会	3/27	10	第1号議案 令和6年度第3次補正予算について 第2号議案 令和7年度事業計画について 第3号議案 令和7年度収支予算について 第4号議案 役員等賠償責任保険契約について 第5号議案 職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 第6号議案 地区社会福祉協議会設置規程の一部改正について 第7号議案 評議員の招集について 第8号議案 令和7年度埼玉県共同募金会三芳町支会事業計画及び収支予算について
第1回評議員会	6/18	21	第1号議案 令和5年度事業報告について 第2号議案 令和5年度収支決算について 第3号議案 令和6年度第1次補正予算について 第4号議案 理事の選任について
第2回評議員会	12/18	21	第1号議案 令和6年度会計第2次補正予算について
第3回評議員会	3/27	21	第1号議案 令和6年度第3次補正予算について 第2号議案 令和7年度事業計画について 第3号議案 令和7年度収支予算について

会議名	開催日	出席数	主な議題
監 査	5/24	2	・令和5年度理事業務執行状況監査（事業執行状況・会計状況）
	11/14	2	・令和6年度上半期理事業務執行状況監査（事業執行状況・会計状況）
評議員選任・解任委員会	6/10	4	・評議員の選任について
地域福祉活動計画 策定委員会	7/16	9	・第3次地域福祉活動計画に基づく活動報告について ・地域福祉推進のための意見交換
次世代を担う子ども達 への支援検討委員会	8/2	11	・委員会目的とこれまでの実績報告について ・各団体の取り組みについて ・子ども支援セミナーについて ・子ども・保護者の予防的支援について ・子ども第三の居場所事業現状報告
	12/6	13	・子ども支援セミナーについて ・子ども・若者に必要な支援についての意見交換 ・子ども第三の居場所事業現状報告
	2/6	13	・子ども支援セミナー振り返り ・今年度の振り返り ・次年度に向けた意見交換
子ども支援セミナー (次世代を担う子どもの支援検討 委員会主催)	2/1	参加者 48人	・次世代を担う子ども達の支援検討委員会について ・貧困課題と対策について ・委員、参加者によるトークセッション

生活困窮者対策 検討委員会	7/25	11	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の生活困窮者の現状・課題について ・生活困窮者セミナーの開催について
	10/24	11	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会趣旨確認・生活困窮者支援セミナーについて前回の議論の整理について ・生活困窮者支援セミナーについて ・若年層の生活困窮者の現状・課題について
	1/17	6	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者支援セミナーの内容・資料について
	2/4	12	<ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者支援セミナー振り返り ・今年度の振り返り
生活困窮者支援セミナー (生活困窮者対策検討 委員会主催)	1/23	参加者 27人	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の成り立ち ・三芳町の困窮者の現状 ・困窮者支援を行うスタッフのトークセッション

(2) 社協だより・活動報告会

事業名	目的	内容	種別	人数・件数	金額 (千円)	合計 (千円)	前年度 対比 (千円)
社協だより発行	福祉情報の提供・社協広報 (全戸配布)	社会問題の啓発、事業告知、サービス情報等周知	4回	—	—	0	—
		企業広告の掲載	—	8社	—	0	—
活動報告会	社会問題と三芳社協が行う対策活動について、主に寄付者向けに報告する。	スライドを活用した報告及びスタッフトークセッション等	2回	34人	—	0	—

(2) 社協会員・寄付

事業名	目的	内容	種別	人数・件数	金額 (千円)	合計 (千円)	前年度 対比 (千円)
社協会員	法人基盤増強・地域福祉財源確保	・区長会の協力による会員募集運動 ・ダイレクトメール等による法人会員の募集運動	一般会員	2,838 世帯	1,419	2,625	△63
			特別会員	74 世帯	148		
			法人会員	89 事業所	890		
			その他	—	168		
一般寄付	社会課題解決活動への寄付金活用	寄付金受付	—	540 件	2,876	2,876	2,550
愛の福祉基金	社会課題解決活動への寄付金活用	寄付金受付	—	2 件	136	135	40
子ども応援夢基金	生活困窮世帯の子どもの支援への活用	寄付金受付	—	136 件	3,925	3,925	1,002
緊急支援募金	災害時等緊急支援が必要な際に活用	寄付金受付	—	14 件	80	80	0
クリスマスキャンペーン 寄付金	一人親家庭等クリスマスプレゼント事業に活用	寄付金受付	—	52 件	489	489	195
夏キャンプキャンペーン 寄付	困窮世帯の児童対象、体験格差是正のためのキャンプ事業に活用	寄付金受付	—	52 件	863	863	—
ふれあいセンター応援募 金	ふれあいセンター事業に活用	寄付金受付	—	募金箱	222	222	—
使徒特定寄付	社協運営施設や特定事業に用途を指定された寄付	寄付金受付	—	1 件	10	10	△61

2 地域福祉活動の推進

(1) 地域福祉推進事業・高齢者支援事業

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数	ボランティア 数 福祉委員・福 祉協力員数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
小地域福祉活動の推進	小地域ごとの福祉課題の解決	一人暮らし高齢者会食会(藤久保1区・4区)	12	延べ206	延べ164	0	21
		〃(藤久保2区・3区)	12	延べ313	延べ172	0	21
		〃(藤久保5区・6区)	11	延べ153	延べ107	1	16
		〃(北永井)	11	延べ145	延べ162	2	12
		〃(竹間沢・みよし台)	12	延べ235	延べ134	0	40
		〃(上富)	12	延べ188	延べ138	0	△4
		福祉新聞の発行(藤久保1区・4区)	12	210(配布先)	19	0	△3
		〃(藤久保2区・3区)	12	175(配布先)	16	0	30
		〃(藤久保5区・6区)	12	64(配布先)	9	0	△7
		〃(北永井)	12	166(配布先)	16	0	△40
		〃(竹間沢・みよし台)	12	89(配布先)	15	0	0
		〃(上富)	12	31(配布先)	10	0	△1
地域サロン	高齢者生きがい・交流支援	囲碁将棋サロン	51回	980	—	2	△82

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数 金額	ボランティア 数 福祉委員・福 祉協力員数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
地域ふれあい会食会	高齢者生きがい・交流支援	民生・児童委員協議会へ補助事業 (地区ごとの申請方式)	9 地区	434	101	2	161
福祉まつり	福祉啓発・福祉体験	福祉展示・福祉体験・模擬店等の 総合福祉イベント	1	—	参加団体 54 ボランティア 75	1	—
福祉教育の推進	多様性を認め合う共生社会・社 会的包摂の醸成	福祉教育プログラム実施のため の相談受付及び調整	22 回	1,555 人	—	2	—
		福祉教育担当教員向け研修会	1 回	14 人	—	0	5
		協力校への助成	—	8 校	—	—	0
あいサポート運動 推進事業	障がいや難病の理解促進	あいサポーター研修	5 回	66 人	5	—	—
		企業・団体向け研修	1 回	3 団体	1	—	—
福祉大学	福祉啓発及び福祉に関する学び の場の提供 (オンライン配信)	外国人の理解について	3 回	27 人	—	0	15
		若者の貧困の現状と対策につい て		30 人	—		
		高齢者の孤立・孤独課題と社会参 加による予防について		29 人	—		
		---	合計	86 人	-	-	-

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数	ボランティア 数 福祉委員・福 祉協力員数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
福祉団体助成	関係団体への助成による活動支援	行政区	—	280 千円	—	—	—
		民生・児童委員協議会への助成	—	130 千円	—	—	—
ふれあい・いきいき サロン運営支援	ふれあい・いきいきサロンの活 性化	サロン運営助成金	—	5 サロン 60 千円	—	—	0 サロン
ヤングケアラー講座	ヤングケアラー問題理解促進	講座開催（オンライン）	1	32 人	—	0	△46

(2) 障がい児（者）支援・当事者団体支援事業

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数	ボランテ ィア数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
障がい児余暇活動支援 事業	障がい児の余暇支援 青少年との交流	外出等の余暇支援事業	3 回	17	28	1	0
視覚障がい者支援事業 (ガイドヘルプ)	移動支援	ガイドヘルプボランティア調整 による制度外の移動支援	11 件	11 人	11 人	3	3

(3) ボランティア・町民活動支援事業

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数 金額	ボランティア数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
町民福祉活動応援助成	住民による地域福祉活動の活性化	当事者組織・ボランティアグループ他 NPO 等に対する活動助成	—	5 団体 328 千円	—	—	1 団体
ボランティア相談・調整	ボランティアの振興・活動促進	相談調整	188 件	188 人	—	78	78
ボランティア講座	ボランティアの振興・活動促進	災害ボランティアセンタースタッフ養成講座	1 回	29 人	-	3	39
		学習支援ボランティア養成講座	1 回	22 人			
		子ども食堂ボランティア養成講座	2 回	4 人			
夏のボランティア体験プログラム	ボランティアの振興・活動促進	福祉施設ボランティア体験他	22 メニュー	82 人	—	4	48

(4) 住民参加型在宅福祉サービス

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数	ボランティア数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
みよし友愛サービス	相互会員制によるたすけあい家事支援	協力会員による掃除・買い物等の家事支援調整	延べ 1,351回	延べ 1,351回	16人	△224	△224

(5) 一人親家庭等支援事業

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数	ボランティア数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
一人親・親なし家庭 クリスマスプレゼント 配布	母子・父子家庭、親なし家庭に対する次世代健全育成支援	高校生以下の母子・父子家庭、親なし家庭の子どもへクリスマスプレゼント配布(申請方式)	—	180世帯 278人	—	—	75
単身子育て世帯支援事業 (おしゃべりサロン)	単身で子育てをしている保護者の居場所支援・交流支援	サロン開催	12回	親58人 子72人	119人	0	39

3 福祉サービス利用支援及び相談事業・低所得世帯支援事業

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数	ボランティア数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
福祉サービス利用援助事業 (※県委託事業)	判断能力が不十分な方の日常生活支援・権利擁護	福祉サービス利用手続き支援・日常的な金銭管理・公的手続き支援等・権利証等の書類保管	247回 (支援員支援回数)	16人	支援員 5人	—	△3
生活困窮者 自立相談支援事業 (※県社協委託事業)	生活困窮者自立支援法に基づく困窮世帯の自立支援	自立相談支援 家計支援 他の支援機関との連携	—	相談支援 84件 自立支援プ ラン作成 24件	—	—	15
生活福祉資金貸付事業 (※県委託事業)	経済支援・自立支援	資金貸付相談支援	—	3件(教育 支援資 金)	—	—	3
三芳町福祉資金 貸付事業	応急的経済支援	低所得世帯に対し、応急的なつなぎ資金貸付及び相談援助	—	20世帯	—	—	△4
法外援護金の支給	行路人援護・緊急支援	緊急的な法外支援・行路人援護のための資金支給	—	0人	—	—	0
歳末援護金の配布	歳末時期の経済支援	歳末時期に援護金を配布する	—	84世帯 184人	—	—	8

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数	ボランティア数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
社会的孤立者居場所支援事業(アットホーム)	社会的孤立者居場所支援	サロン開催	12回	延べ 127人	延べ 93人	0	△10
就労継続支援サロン	生活困窮者就労継続支援	サロン開催	12回	25人	0	0	13
あったか食事パック提供	食糧支援	困窮世帯への緊急食糧提供	36回	36人	-	△2	△2
生理用品提供	生理用品支援	困窮世帯への生理用品提供	120回	60世帯	-	-	-

4 子どもの貧困対策事業

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数	ボランティア数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
学習支援教室 (北永井)	生活困窮世帯の子どもに対する 学習支援	学習教室開催	51回	9人 (延べ360人)	6人	7	187
子ども第三の居場所 事業 (藤久保学習教室)	生活困窮世帯の子どもに対する 学習支援・食事支援・基本的生 活習慣育成	食事付き学習教室開催	153回	56人 (延べ2,692 人)	22人	1	159
(子ども応援夢基金) 支援金給付	学業継続・進学・通学等に關わ る公的支援外の必要経費給付	支援金給付	15件	15人	—	—	△5
子ども食堂	生活困窮世帯の子どもに対する 食事支援	週1回食堂開催(コロナ禍によ り弁当配布)	51回 (2,962 食)	延べ 798人	延べ 291人	2	5
朝食パック提供	食糧支援・生活習慣支援	朝食欠食家庭への朝食提供	51回	8世帯 29人	—	—	0
夏キャンプ事業	体験格差是正	キャンプ場への一泊二日外出事 業	1回	30人	14人	0	1

5 終活支援事業

事業名	目的	内容	回数	参加者数 利用者数	ボランティア 数 福祉委員・福 祉協力員数	前年度 対比(回)	前年度 対比(人)
終活支援セミナー	終活支援	エンディングノート書き方講座	1	70人	—	1	69
		相続と遺言の基本	1	42人			

6 在宅福祉サービス事業（介護保険事業）

事業名	目的	内容	利用者数	ボランティア数	前年度対比（人）
デイサービスセンター 「けやきの家」	認知症高齢者支援	デイサービス（通所介護）	49人 （3月末契約者数）	-	11
		若年性認知症デイサービス	延べ 272人	2人	62
		子ども食堂	延べ 118世帯		--
		認知症カフェ（町委託）	延べ 176人	2人	△66
居宅介護支援事業 （ケアプラン）	高齢者支援	ケアプラン作成・相談支援	36 （3月末契約者数）	-	△6

7 公益事業（ふれあいセンター事業）

事業名	目的	内容	利用者数	前年度 対比（人）
三芳町ふれあいセンター事業 の運営 （※町委託事業）	シニアを中心とする地域住民交流促進 ・健康維持等	<ul style="list-style-type: none"> ・団体利用・個人利用（曜日制） ・スマホ相談・デジタル活用セミナー（デジタル格差対策） ・食事を通じた交流事業、ヘルストロン・買い物支援、サロン事業、健康講座等 	13,966 人	2,102

8 生活支援体制整備事業

事業名	目的	内容	回数	参加者数	前年度対比
生活支援体制整備事業 (町委託事業)	高齢者の社会参加を促進し、介護予防効果と生活支援サービスの充実を図るため必要な取り組みを協議・実施する	支え合い活動の周知 「ささえあい・みよし通信」発行	3回	-	0
		協議体の運営	12回	-	1
		集いの場サミット	1回	53	-
		町をあげてみんなで支え合うまちづくりフォーラム	1回	131	-
		居場所活動の新規立ち上げ ・サロン活動	3箇所	-	-
		支え合い活動担い手募集 ・ボランティア基礎講座	6回	7	△4
		担い手養成講座	1回	17	-
		住民ワークショップの開催	3回	46	2